

白糸地区

内野の火伏念仏

ひぶせねんぶつ

内野の火伏念仏(市指定無形民俗文化財)は、火災除けの念仏行事で、300年以上続いているとされています。内野地区では1月18日、足形地区では3月14日に行われます。江戸時代に集落全体が火事にあったことから、二度と火災が起こらないことを願い始まったとされ、家の繁栄や幸福への願いも込められています。

火伏念仏は、新築または改築した家で行われ、その会場を当屋と呼びます。六斎衆と呼ばれる人々を中心に、集落の人が集まって阿弥陀三尊の掛軸を掛けたり、天井を五色の紙で飾り付けるなどの準備を行い、太鼓と鉦の音にあわせて念仏を唱えます。特徴のある念仏の唱え方は、六斎衆以外には唱えることが難しいとされています。

念仏は、午前から始まり、夕方まで続きます。最後には、来場者が天井の飾りを奪い合ったり、餅投げが行われます。飾りは火災除けのお守りに家に持ち帰ります。

近年は、当屋の確保が難しいため、内野区民館が会場となっており、1年に1回、交互に1月18日と3月14日に行われます。

令和6年は6年ぶりに個人宅で開催されます
誰でも見学ができます

時 1月18日(木)

時 文化課 ☎22-1187



火伏念仏の様子



天井飾り



天井飾りの準備



歩く博物館

火伏念仏と内野地区の歴史をめぐる特別コース

平成30年3月14日に開催した歩く博物館探索会の資料です。内野の火伏念仏の動画を視聴できます。

HP [トップページ](#)>[市民の皆さんへ](#)>[教育・文化・スポーツ](#)>[郷土資料館](#)>[歩く博物館探索会](#)>[火伏念仏と内野区の歴史をめぐる特別コース](#)



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック



問 文化課 ☎22-1187 FAX 22-1209